「市民の声」提案箱制度の運用状況

令和７年１月から令和７年３月までに「市民の声」提案箱へお寄せいただいたご提案等の状況をお知らせします。

令和７年１月～令和７年３月受付分

合計：１５件

次ページからは、お寄せいただいたご提案等の概要や一部内容をご紹介いたします。

「市民の声」提案等の受付・処理簿

番号	受付日	方法	提案の概要	対応内容・市の考え方	担当課
1	2/24	メール	シェアサイクル事業について 近隣市では、シェアサイクル事業が行われているところもあり、回遊性や交通の利便性の向上が図られている。 高石市でも同様の事業を行えば、まちの活性化だけでなく、健康増進等の効果が期待され、公共交通を補完する役割が期待できると思う。	ご意見いただき、ありがとうございます。 本市におきましても、令和７年4月1日からシェアサイクル実証実験を開始し、市内各駅周辺や公共施設を中心にポートを設置してまいります。なお、3月号広報等にて公表させていただきました。公表後の回答になってしまい、まことに申し訳ございません。よろしくお願いいたします。	産業共創課
2	3/31	提案箱	旧図書館・旧市民会館跡地について 旧図書館・旧市民会館跡地に、スーパー銭湯を誘致してほしい。駐車場も確保でき、交通も便利だと思います。	旧図書館・旧市民会館跡地について、具体的なご提案を頂きましてありがとうございます。 旧図書館・旧市民会館跡地につきましては、広くアイデアを募集し、それを基に検討委員会にて活用方針を策定しました。その後、具体的な活用方法につきましては、公募型プロポーザルの手法で活用を検討しているところです。	地域創生課
3	3/31	提案箱	市役所本館ロビー及び窓口の椅子について ロビー及び窓口の椅子の座面が低く、立ち上がるのが困難です。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後、椅子を入れ替える際には、いただいたご意見を参考にさせていただきます。	総務課
4	2/14	提案箱	市役所本館地下の食堂と1階のATMについて 食堂とATMは、なぜ無くなったのでしょうか。	ご不便をおかけして申し訳ございません。 市役所内の食堂とATMにつきましては、各事業者様のご協力により営業いただいておりました。しかし、各事業者様から諸般の事情により、営業を終了したい旨の申出があり、双方で協議を重ねましたが、いずれも営業を終了される結果となりました。	総務課

5	2/25	提案箱	戸籍の証明のコンビニ交付について 戸籍の証明もコンビニ交付ができる市がある。高石市でも交付してほしい。	「市民の声」より戸籍の証明のコンビニ交付につきまして、貴重なご意見をいただき有難うございます。 戸籍の証明のコンビニ交付につきましては、今後も調査研究して参ります。 なお、令和6年3月より広域交付制度が開始されており、顔写真付きの本人確認書類があれば、最寄りの市区町村役場の窓口においても、ご自身の戸籍謄本等が交付可能となっておりますので、ご利用いただきますようよろしくお願いいたします。	市民課
6	1/31	メール	障がい福祉サービスの拡充について 障がいを持つ児童が通学バスを利用するにあたり、バス停までの送迎に対応可能となるよう、福祉サービスの拡充を検討してほしい。	福祉サービスの拡充についてのご提案ありがとうございます。 障がい福祉サービスにおける外出支援については、通学等の通年かつ長期にわたる外出での利用は原則認められないこととなっております。しかし、具体的なサービス内容や、サービスを利用する本人の心身の状況及び保護者等の状況を勘案し、支給が認められる場合もございますので、高齢・障がい福祉課もしくは高石市基幹相談支援センターへご相談ください。	高齢・障がい福祉課
7	3/17	メール	がん検診について 男性の前立腺がんの検診について、追加を検討してほしい。	高石市のがん検診は厚生労働省の「がん予防重点健康教育およびがん検診実施のための指針」により科学的根拠に基づいて実施しています。 男性の前立腺がん検診については、今後、他市町村の実施状況等を調査、研究してまいります。	健幸増進課

8	2/13	メール	芦田川ふるさと広場における川への転落防止について 芦田川ふるさと広場の南側（中央公民館側）の川沿い両側にあるスロープに柵が設置されています。 その柵は、大人の腰ぐらいの高さに手すりがあるのみなので、小さい子どもはすり抜けてしまい、川への転落事故のおそれがあると危惧しています。 つきましては、転落防止ネットを設置するなど、転落防止措置を講じるよう、検討していただきたいと思います。	ご意見頂きありがとうございます。 芦田川ふるさと広場内のスロープに関しまして、縦格子つきの手すりを設置した場合、河川の流量が増大した際に、ゴミが縦格子につまり、河積阻害をおこす恐れがあるため、現在の手すりのみを設置しております。ご理解のほどよろしくお願い致します。 なお、頂いたご意見につきましては今後検討させていただきます。	土木管理課
9	2/22	メール	今川公園のトイレについて 今川公園のトイレが汲み取り式なので、水洗に変えてほしいです。	ご意見頂きありがとうございます。 今川公園のトイレにつきましては、現在汲み取り業務を専門業者に委託しながら管理を行っておりますが、今後、利用状況を確認しトイレが必要かどうかも含め検討させていただきます。	土木管理課
10	2/12	メール	スポGOMIについて 子どもと小学校へ向かう途中、道路上にたばこの吸殻などのごみが、たくさん落ちていました。 ごみに対する意識向上のため、ごみ拾いをスポーツ化した「スポGOMI」を、高石市でも開催してはどうでしょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。 本市では、環境美化推進啓発業務として、月3回市内各所の清掃業務を実施しています。また、自治会等の団体、個人等によるまちの美化活動が実施されています。 また、スポGOMIの開催につきましては、泉北環境整備施設組合主催で行われており、高石市域も競技エリアとなっており、今年度につきましては６月頃開催予定です。 ５月発行泉北クリーンセンターだより（5月号広報に同封）にて周知いたしますので、ぜひご参加ください。	環境政策課
11	1/21	メール	高石中学校のネットについて 高石中学校のグラウンドのネットが破れています。 ボールなど飛び出してこないか不安なので、修繕をお願いします。	高石中学校のグラウンドのネットの破損について、ご心配をおかけして申し訳ございません。 学校施設の修繕については、毎年度緊急性の高い箇所から順次修繕を行っているところです。 ご指摘いただきました件につきましては、至急、現地に赴き、破損箇所の状況確認を行いましたが、非常に広範囲に渡って破損しておりました。 つきましては、優先順位を定めながら、計画的に修繕を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。	教育総務課

12	3/8	メール	給食について 子供達の給食が質素に感じます。栄養面はしっかり考えていただけていると思いますが、もう少しメニューを増やしてあげてほしいので保育所、小学校、中学校、給食に予算を増やして頂きたいです。	本市の保育所・学校給食に貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。給食の献立につきましては、地場産品を取り入れるなど安全・安心な食材を選定し、栄養価やバランス、おいしさや食べやすさに配慮した献立を作成し、自校調理を行っております。 ご指摘いただきました件につきましては、今後もこどもたちが給食を楽しみと感じられるようなメニュー構成に努めてまいります。	教育総務課 子育て支援課
13	2/12	メール	総合体育館の休館日について 総合体育館の休館日は火曜日で、祝日と重なっても休館とされています。市立図書館は祝日と重なった場合は開館し、平日に振り替えて休館とされています。 総合体育館も市立図書館と同じようにしていただけると、ありがたいです。ご検討をお願いします。	総合体育館の休館日について、ご意見ありがとうございます。 火曜日以外の曜日には定期的なスポーツ教室を実施しており、火曜日に祝日が重なった場合の振替日を設定することが困難です。 何卒ご了承くださいますようお願いいたします。	社会教育課
14	2/2	メール	小中学校で使用しているPC・タブレットについて 小中学校で生徒が使用しているPC・タブレットが、かなりの重さであるうえ、毎日持ち帰るよう指導されていますが、子供たちの健康・成長が阻害されるのではないかと気になります。 軽いものに変更できないでしょうか。もしくは、家で使わない日は学校に置いておくなど、できないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 PC・タブレットについては、家庭でのデジタルドリル等を使用した学習を行う場合は、持ち帰りが必要となっております。持ち運びの児童生徒の負担に関しては、持ち帰りが不要な教材等を教室に置いておくなど、重量の軽減に努めておりますのでご理解のほどよろしくお願いします。	学校教育課
15	2/17	メール	母子健康センターの施設名について 母子健康センターで出産させていただいた者です。 知人にセンターでの出産を勧めたりもするのですが、母子センター＝大阪母子医療センターのイメージが強すぎるのか、普通分娩ができないところだという認識の方がいらっしゃいました。 せっかく子育てのまちをアピールしているのに、残念だなあと感じました。 全国的にも珍しい「公立の助産所」ということが分かりにくい施設名なのは、もったいないのではないかな、と思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 大阪府の施設「大阪母子医療センター」と混同され、普通分娩ができないところと認識されているとのことですが、現在のところ施設名の変更は考えておりません。 全国でも数少ない、価値のある公立の助産所として市民の皆様に知っていただけるよう、分娩の他にも実施している事業を通じて引き続きPRをしてまいります。	こども家庭課